

親子の学び応援講座



〈 目 的 〉 本県における家庭教育の推進に向けて、両沼地区 PTA 連絡協議会を対象に講座を行い、親子の学び・家庭での実践活動を支援する。

「両沼地区 PTA 連絡協議会研修会金山大会」における講座

◆と き 令和8年7月25日（土）

◆と ころ 金山町開発センター

◆参加者 80名（保護者、教職員）

◆講 演 演題：「子どもとメディアのちょうどよい関係」

～管理より関係、正しさより安心～

講師：こころのあい あいづ 所長 児島 一行 氏



1＜テーマ設定の理由及び実践活動のねらい＞

両沼地区における家庭教育の推進に向けて、児童・生徒のメディアとのつきあい方をテーマに講座を行い、親子の学び及び家庭での実践活動を支援する。

2＜内 容＞メディアコントロールに関する講演

- ・精神科認定看護師である講師の講演から、メディアによる子ども達への脳への影響を知り、普段の子ども達や家族の生活について振り返ることは貴重な機会となった。
- ・子育て経験者の実体験を聞くことを通して、思春期の子ども達へ共感する「言葉掛け」の大切さや、メディアを否定するのではなく認めることで信頼関係を築く家庭のケースについても理解することができた。
- ・メディアに頼らないコミュニケーションとして、親子で共通体験をするなど関係づくりの必要性についても触れられていた。



当日資料より一部抜粋

参加者の感想から

- 中学生の子どもがいますが色々考えさせられる内容でした。今日お話を聞いたことをすぐにも実行していきたいと思いました。
- メディアコントロールだけに注目してしまいがちですが、その他にも大切なことがあることに気付かされました。特に、夢中になること（子どもも親も）を見つけるのは大切だなと実感しました。子どもたちとの関係性を大切にしながら、メディアとの関わり方について考えていきたいと思います。
- 共感・理解できることがたくさんありました。大人が専門の先生にご指摘いただける機会は大切だと思いました。「子どもが変われる環境をつくる」「できていることを認める」など、大人がすべきことがたくさんあります。まずは自分が自分の行動を変えていきたいと思います。
- 今後、子どもにスマホを持たせる時が来るとは思いますが、その時は、本人が夢中になっていることを尊重しつつ、親子のつながりをさらに大切にしていきたいと思いました。